

令和7年度

出雲市立大社幼稚園



2026年3月発行



運営協議会だより

ごあいさつ

真似ることから学ぶ

会長 須佐公和

2026年(午年)1月6日、島根県東部を震源とする地震の発生には、驚かされた方も多かったことでしょう。そして、梅の開花も見られ始めた頃の寒波の襲来。町内でも何年ぶりの大雪となり園庭にも雪だるまを見ることができました。今年も何か自然の変異を予感させるスタートとなりました。

先日ラジオの「子育てコーナー」で、すぐお兄ちゃんの真似をして同じ様にできず泣き出すことが多くて困っている相談を耳にしました。同じような話は皆さんも耳にされるでしょう。昔も兄弟姉妹が多ければ多いほど、家庭内では至る所でみられていました。我慢することも多かったと思います。しかし、兄弟姉妹が少ない今、家庭では、子どもがすべての中心となり、何もかもが子ども達の自由になってはいないでしょうか。なにかをまねて行動してみる。そして、悔しい思いもする。それが幼稚園であり学校ではないでしょうか。そうした子ども達を見つめ支援するのが先生であり地域の力であってほしいと思います。人と関わることによるのみ得ることのできる力、こんな力を一人一人にはぐくみ、伸ばしていきたいものです。

最後になりましたが、地域の皆さまの一層のご支援ご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

令和7年度 運営協議会 委員

会長	須佐公和 (主任児童委員)	副会長	小田川裕一 (大社コミュニティセンター長)
委員	原勝則 (鷺鷥コミュニティセンター長)	委員	木村亨 (日御崎コミュニティセンター長)
委員	小藤滋子 (主任児童委員)	委員	伊藤慎悟 (大社小学校長)
委員	佐藤楨子 (地域有識者)	委員	石川英樹 (祖父母会会長)
委員	長岡誠一郎 (愛育会会長)	委員	大瀧正紀 (大社幼稚園長)

第1回 運営協議会 (6月5日)

◆全クラス保育公開

●令和7年度経営方針について

- ・学級編制及び職員組織
- ・経営方針
- ・会計予算 (市配当、教育後援会)

●令和7年度行事について

- ・年間行事
- ・愛育会の活動
- ・祖父母会の活動



第2回 運営協議会 (2月18日)

◆全クラス保育公開

●2学期以降の活動の様子について

- 令和8年度の園経営について
 - ・園児見込み数と学級編制
 - ・年間行事

●学校関係者評価

- ・評価項目について評価

●令和8年度運営協議会について





地域の中で 地地の共に

大社幼稚園では、地域の園として、地域の環境を生かして、地域の方とふれあいながら、子どもたち一人一人の成長を支える活動をしてきました。これらの活動を通して、「ふるさと大社が好きで大切にする子」になって欲しいと願っています。

大祭礼見学



神楽や大文字展を見学・鑑賞しました。

田植え体験



5月に地域の田んぼで田植え体験をしました。

稲刈り体験



10月に、地域の田んぼで稲刈り体験をしました。

餅つき会



収穫したもち米を使って、餅つきをしました。

イモほり体験



園で大切に育てたサツマイモを収穫しました。

焼きイモパーティー



収穫したサツマイモで、焼きイモをしました。

吉兆行事



市場町しゃぎり保存会の皆さんのお囃子に合わせて、神門通りを通り、出雲大社へ参拝しました。



古代ハスマ祭り



大社CC古代ハスマ祭り、ダンスなどを披露しました。

鵜鷺地区交流会



鵜鷺地区敬老会に参加し、楽しく交流をしました。

親子陶芸教室



彌山窯の方に教わりながら、親子で陶芸をしました。

とんどさん



大社コミセン主催のとんどさんに参加しました。

学校関係者評価

第2回の運営協議会で、学校関係者評価を行いました。大社幼稚園の取組に対して運営協議会委員の方々から、貴重なご意見をいただきました。

- 大社小学校にある「地域応援隊」やコミセンを入りに、地域の力の活用を検討してみてもどうか。
- 保護者評価で園児の戸外での遊びの少なさが気になった。スマホ対応なども啓発していく必要がある。
- 担任と補助教諭等の打ち合わせの時間をとるのは難しいが、少しでも時間を有効活用して行けると良い。
- 大社小学校の行事・活動へのより多くの参加や施設の利用をさらに進め、連携の充実が図れると良い。
- 園児一人ひとりにていねいに細かく対応している。保護者とのコミュニケーションも熱心に図っている。